



県議会 とちぎ

No.161

〒320-8501 宇都宮市埴田 1-1-20 TEL 028-623-3772 FAX 028-623-3755
E-mail gikai-seisaku@pref.tochigi.lg.jp HP アドレス <https://www.pref.tochigi.lg.jp/kengikai/>
議案など各記事の詳細については県議会 HP をご確認ください。



▲12月16日にベトナム首相府で行われたフラム・ミン・チン首相との会談の様子
(右から3人目が池田忠議長)

第409回通常会議(令和7年11月26日~12月12日)

一般会計補正予算、栃木県体育施設設置及び管理条例の一部改正など52議案を可決

可決された主な議案と概要

●は知事提出議案です。●は議員提出議案です。

- 令和7年度栃木県一般会計補正予算(第5号)
年末年始における救急搬送患者の受入体制の強化など、当面する緊要な課題に適切に対処するための予算です。
- 令和7年度栃木県一般会計補正予算(第6号)
国の「強い経済」を実現する総合経済対策に呼応し、物価高騰による家計負担の軽減や、中小企業者、農業者、医療機関・社会福祉施設等に対する支援等を行うための予算です。
- 栃木県体育施設設置及び管理条例の一部改正について
栃木県グリーンスタジアムにラウンジを設置することに伴い、新たにその利用料金の基準額を定めるため、条例の一部を改正することとしました。
- 栃木県議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について
国家公務員等の旅費に関する法律の改正に鑑み、条例の一部を改正することとしました。

可決された意見書と概要

- 私学助成の充実・強化に関する意見書
私立高等学校等経常費助成費補助金の継続・拡充と、高校生等の学びを支える高等学校等就学支援金及び高校生等奨学給付金の財源を確保することを国に要望することとしました。
- 地域の医療・看護を守るための支援と診療報酬改定等を求める意見書
医療機関等の経営支援のため専門職だけでなく一般職も含めた処遇改善に向けた対策を講じること及び令和8年度診療報酬改定において社会経済情勢を適切に反映した十分な改定率を確保することを国に要望することとしました。
- クマ被害対策に関する意見書
クマ対策に万全を期すこと、緊急銃猟従事者の事故について法改正や補償制度を確立すること、ハンターの育成支援制度を整備するための十分な予算を確保すること等を国に要望することとしました。



▲第409回通常会議(12月12日)採決の様子

請願・陳情

所管常任委員会の審査を経て、陳情1件が不採択となりました。

とちまるくんのなるほど! 県議会 ~次期プラン検討会報告書について~

県議会では、次期プラン検討会を設置し、県が策定する県政の基本指針である「とちぎ未来創造プラン」等へ続く次期プランについて議会として提言するため、調査・検討を進めてきました。今回は、検討会が10月に取りまとめた「次期プラン検討会報告書」について紹介します。

次期プラン検討会とは

次期プランでは、県民が活力と希望に満ちた、未来に誇れる新しいとちぎをつくる施策を戦略的に展開していくことが重要です。

検討会は、その策定に向けて県議会として必要な提言を行えるよう、議長からの諮問を受け、調査・検討を行ってきました。

カモシカ先生

未来に夢や希望の持てるとちぎへ、議会の提言

次期プランの計画期間である令和8年度からの5か年間に、重点的に推進すべき五つの取組の方向について提言しました。

検討会報告書は、県議会HPからご覧いただけます。

人づくり

女性や若者が輝き、誰もが持てる力を発揮できる「とちぎ」づくりを!

- 【子ども】結婚、妊娠・出産から子育てまで切れ目のない支援等
- 【若者・女性】ライフスタイルに合わせた柔軟な働き方と、魅力ある雇用の創出等
- 【教育】不登校・いじめ対策の強化と、デジタル教育(DXハイスクール)の推進等

産業成長

県民一人ひとりが豊かさを実感できる「とちぎ」づくりを!

- 【産業】地理的メリットを活かした企業誘致と、産業団地の整備、地域産業の活性化等
- 【農林業】スマート技術の活用と、「とちぎブランド」の農産物開発等
- 【観光】体験型観光の強化、海外輸出戦略の強化等

報告書には、検討会委員だけでなく全議員の多様な意見を反映しているまる!

(写真上)8月7日に行われた全議員検討会
(写真下)10月21日に神谷幸伸会長から池田忠議長へ報告書を提出

健康・共生

誰もが元気でいきいきと暮らすことができる「とちぎ」づくりを!

- 【健康】病気の早期発見・予防(未病対策)で健康寿命を延伸等
- 【医療】どこに住んでいても安心して医療・介護が受けられる体制づくりの推進等
- 【共生】誰も取り残さない、助け合いのある地域コミュニティの再生等

安全・安心

安全・安心を実感できる「とちぎ」づくりを!

- 【防災】実践的な防災教育、迅速な情報収集・伝達体制整備等
- 【強じん化】激甚化する災害に備えた河川・道路とライフラインの整備等
- 【防犯】防犯カメラの設置促進や「ながら見守り」による犯罪抑止等

地域・環境

将来にわたって持続可能で暮らしやすい「とちぎ」づくりを!

- 【地域】移住・定住の促進と、地域の特性を活かした魅力発信等
- 【まちづくり】公共交通の維持と、新たなモビリティ(移動サービス)の導入等
- 【環境】カーボンニュートラルの推進と、豊かな森林の保全等

《第409回通常会議 本会議の主な質問項目及び内容》

代表質問 (11/28)

さとう りょう
佐藤 良
(とちぎ自民党)
[壬生町]




○次期プラン^{*1}の策定

問 とちぎ未来創造プランの取組の成果をどのように総括するか、また、先日第2次素案を示した次期プランについて、知事の政策集等を踏まえ、どのような内容を盛り込み、実現を図っていくのか伺います。

答 【知事】とちぎ未来創造プランの18のプロジェクトの約8割を「順調」等と評価しており、全体として着実に進捗が図られていると考えています。

次期プランでは、目指す将来像を「共に創る 人も地域も輝く“元気なとちぎ”」と掲げ、五つの重点戦略の下、15のプロジェクトを推進することとしており、来年2月を目途に策定を進め、多様な主体との共創・協働を推進しながら、将来像の実現に向け、全力で取り組んでいきます。

○「いちご王国・栃木」の更なる発展

問 県、農業団体、生産者で構成する「いちご王国・栃木」戦略会議で検討が進められていた新たな戦略が、先日公表されましたが、この戦略を踏まえ、どのように「いちご王国・栃木」を導いていく考えか伺います。

答 【知事】主力品種「とちあいか」の持つ高いポテンシャルを最大限に生かした取組を加速化していくことが重要と考えていることから、生産性の向上や担い手の確保・育成、ブランド力の強化を一体的に進める新たな戦略を策定しました。

生産性の向上を図る高設栽培の導入支援や、就農希望者の呼び込み、観光いちごへの魅力向上などに取り組むことで、国内外から選ばれる世界の「いちご王国・栃木」の確立を目指していきます。

このほか

県庁舎周辺整備、令和8年度当初予算編成と国の経済対策など

一般質問 (11/28)

なかや だい
中屋 大
(民主市民)
[小山市・野木町]




○持続可能な水田農業の確立に向けた県の対応

問 県では、生産者が安心して米づくりに取り組める環境を守るため、今後どのような方針で持続可能な水田農業の確立に取り組んでいくのか伺います。

答 【知事】持続可能な水田農業の確立に向け、需給見通しや流通状況を分析し、県農業再生協議会を通じて農業者へ情報提供を行います。あわせて、気候変動適応ガイドに基づき水肥管理や「とちぎの星」作付拡大、新品種開発を進めます。

また、加工用米等は研究会の設置により地域内の流通を促進し、麦・大豆は排水対策等を推進し安定供給を図ります。

令和9年度の国の政策見直しに向け、制度設計や支援策を国へ働き掛け、本県の水田農業を未来へ継承していきます。

○県立学校における老朽化対策と教育環境の整備

問 県立学校における老朽化対策と教育環境の整備について、専門高校における教育関係機器の更新や体育館のエアコン整備といった喫緊の課題も含め、今後どのような方針で計画的に取り組んでいくのか伺います。

答 【教育長】県立学校施設や専門高校の実習機器は教育の基盤であり、安全で快適な学習環境の整備が重要です。

これまで、県教育委員会では、県立学校の長寿命化や機器更新、普通教室のエアコン整備に取り組んできました。

今後は、老朽化対策を着実に進めるとともに、教育現場の実態を踏まえた機器充実にも努めるほか、体育館や特別教室のエアコンも早期整備の実現を図り、児童生徒が安心して学べる環境づくりに全力で取り組んでいきます。

このほか

山岳地域におけるトイレ整備の現状と今後の対応、信号機の新設及び維持管理など

一般質問 (11/28)

のざわ かずいち
野澤 和一
(公明党)
[宇都宮市・上三川町]




○県産木材の利用促進

問 建築費全体の物価が上昇し県内の新築着工件数が激減する中、本県には、利用期を迎えた豊富な森林資源が存在していることから、県産木材の需要の喚起を図ることが喫緊の課題であると考えますが、県産木材の利用をどのように進めていくのか伺います。

答 【環境森林部長】木材使用率が低い店舗など、非住宅建築物の木造・木質化を支援する事業を開始しました。

また、大径化した県産木材の使用に向けた強度試験による性能証明や建築部材の選定に重要な役割を担う建築士との連携強化に取り組むとともに、製材工場に対し、JAS認定^{*2}取得に必要な技術指導等を強化し、県産木材の高付加価値化を進めます。

○魅力ある地域医療

問 多くの病院で医療提供体制の維持が困難になる中、県内に医療ゾーン特区を設け、高度な医療提供体制等を集約し、周辺地域への医師派遣を統括する機能を持たせることで、県内どの地域でも必要ときに必要な医療を受けられる魅力ある地域医療を構築すべきと考えますが、どのような取組をしていく考えか伺います。

答 【知事】医療機関の連携や再編、集約化を推進するとともに、地域枠制度等の充実、専門医育成や勤務環境改善の促進等の実施により、医師の確保・育成に取り組んでいます。

また、人口減少がより進行している地域においては、拠点となる医療機関からの医師派遣等の更なる推進を図り、効果的・効率的な体制を確保していきます。

このほか

発達障害児の支援体制の確立、ケアマネジャーの確保・定着など

一般質問 (12/2)

わたなべ さちこ
渡辺 幸子
(とちぎ自民党)
[宇都宮市・上三川町]




○「誰もが未来に夢や希望を持てる栃木」「豊かさを実感できる栃木」の実現

問 知事公約の「誰もが未来に夢や希望を持てる栃木」「豊かさを実感できる栃木」とは、どのような状態を指し、何をもちて達成されると考えるのか伺います。

答 【知事】豊かさとは、稼ぐ力の向上による経済的・物質的な豊かさのみならず、一人ひとりが持てる能力を発揮し、活躍できる、結婚・妊娠・出産、子育ての希望がかなうなど、総合的なものと考えており、次期プランの15のプロジェクトを通じて実現を図っていきます。

適切な評価指標と目標値を設定し、目標達成に向け、PDCAサイクルを活用したマネジメントにより効果的・効率的な施策展開を図っていきます。

○女性・若者から選ばれるとちぎへ

問 知事公約にある「とちぎ若者応援バンク^{*3}」新設や「男女生き活き企業^{*4}」認定数倍増についても大変期待しています。

これまでの取組を踏まえ、特に若年女性の転出の理由をどのように捉え、女性や若者から選ばれるとちぎに向けてどのように取り組んでいくのか伺います。

答 【生活文化スポーツ部長】若い女性が地元を離れる理由の一つに、様々な場に根強く残るアンコンシャス・バイアス等があることから、広く県民からエピソードを募集し、幅広い世代に気付きを促すとともに、男女生き活き企業認定数の倍増等に取り組んでいきます。

また、今後、とちぎ若者応援バンクの運用を開始するとともに、とちぎ若者会議における若者からの提案等について、県の施策に効果的に反映していきます。

このほか

子育て世代から選ばれるとちぎへ、県土60分構想のR・デザインとLRT西側延伸及び自動運転移動サービスなど

一般質問 (12/2)

あおき かつあき
青木 克明
(えがお)
[矢板市]




○医療提供体制の持続可能性 ~総合診療医の確保・育成~

問 複数疾患を抱える高齢者の増加などに対応するため、総合診療医の役割は、今後ますます重要となります。

総合診療医は、疾患だけでなく患者を取り巻く環境を総合的に診療し、地域の医療提供体制を支える“要”であり、その確保と育成をどのように進めていくのか伺います。

答 【保健福祉部長】自治医科大学や獨協医科大学の地域枠において、総合的な診療能力を持つ医師の確保策を強化しました。

また、地域枠医学生に対しワークショップを開催するなど、総合的な診療能力を備える必要性の理解促進を図り、医師の確保・育成に取り組んでいきます。

○人口減少時代の県政

問 人口減少に歯止めを掛ける対策を確実に実行していくべきですが、現実的に完全な解消は難しいことも事実であり、どのように地域社会を維持していくかが、重要と考えます。

活力ある地域社会を維持していくため、様々な取組が求められていますが、人口減少問題にどのように取り組んでいくか伺います。

答 【知事】「栃木県人口未来会議」を設置して「人口減少克服宣言」等を取りまとめ、企業・団体によるアクションプランの作成を促進し、県を挙げて人口減少対策に取り組んでいます。

次期プランの「人づくり戦略」等を通じ、結婚・妊娠・出産、子育て支援等の様々な施策を積極的に展開するとともに、持続可能でにぎわいのあるまちづくりを推進していきます。

このほか

スポーツを通じた県民のウェルビーイング^{*5}の実現、企業参入による農業の担い手の確保・育成など

一般質問 (12/2)

よこた まこと
横田 誠
(とちぎ自民党)
[佐野市]




○県立中高一貫教育校の前期課程における学校給食の実施

問 現在、本県は学校給食費の無償化について協議・検討を進めています。

しかし、県立附属中学校では学校給食が実施されておらず、これは無償化を進める上で、教育の公平性や平等性、食育の観点から課題として認識されるべきものであると考えますが、中高一貫教育校の前期課程での学校給食の実施についての所見を伺います。

答 【教育長】県立附属中学校の学校給食の実施に当たっては、日課の変更や必要な施設の整備など、様々な課題の整理が必要で、引き続き、中高一貫教育校ならではの教育活動の充実を図るとともに、給食の在り方について研究していきます。

○特別支援学校の分校の設置

問 近年、特別支援学校の児童生徒数の増加により、校内の狭あい化など、教育環境の確保が課題となっています。

そこで、県内各地にある閉校となった小中学校施設を活用すれば、狭あい化の解消のほか、通学環境の改善にもつながると考えますが、閉校となった小中学校施設を特別支援学校の分校として活用することについて所見を伺います。

答 【教育長】地域の既存校舎の活用については、地域共生社会の実現にもつながることから、特別支援学校全体の配置バランスや児童生徒の通学環境等も踏まえて検討していきます。

今後とも、児童生徒の主体的な学びを支える安全・安心な教育環境の充実に取り組んでいきます。

このほか

栃木県における二地域居住の推進、介護人材の確保及び定着に向けた取組など

用語解説

*1 次期プラン：県政の基本指針である「とちぎ未来創造プラン」及び本県版「まち・ひと・しごと創生総合戦略」である「とちぎ創生15戦略(第2期)」の計画期間(～令和7年度)後の新たなプラン
*2 JAS認定：日本農林規格に基づき、国が定めた品質・生産方法等の基準を満たしていることを、登録認証機関が検査・認証する制度。今年度から建築確認申請における構造関係の審査が必須となる建築物の範囲が拡大することから、JAS認定を取得した工場で製材された木材の需要増が見込まれる。

*3 とちぎ若者応援バンク：若者と若者を応援する企業・団体等との連携を促進するためのWEBサイト
*4 男女生き活き企業：女性活躍の推進や働き方見直しに積極的に取り組み、誰もがいきいきと働けることを目指す企業等を認定・表彰する制度
*5 ウェルビーイング：個人の権利や自己実現が保証され、身体的、精神的、社会的に良好な状態にあること。

注 ()は所属会派／(とちぎ自民党)とちぎ自民党議員会、(民主市民)民主市民クラブ、(公明党)公明党栃木県議会議員会、(えがお)えがおの会／会派名は質問日時点／[]は選挙区

《質疑・質問日 令和7年11月28日、12月2日、3日》

※スマートフォン等で二次元コードを読み取ると、質問の映像をご覧いただけます。

一般質問 (12/2)

ぬまた くにひこ
沼田 邦彦
(とちぎ自民党)
[那須烏山市・那珂川町]



○県道烏山停車場線南工区電線共同溝の整備

問 那須烏山市の玄関口であるJR烏山駅前の県道烏山停車場線南工区電線共同溝事業と、那須烏山市が進める新庁舎整備を中心とする市街地の再生整備等との相乗効果は計り知れません。

さらに、JR烏山線の利用促進にもつながる事業と大いに期待しているところですが、本事業の進捗と今後の整備予定について伺います。

答【県土整備部長】JR烏山駅周辺のにぎわい創出の一助にもなるよう、無電柱化に合わせ幅員が広い歩道を整備し、良好な景観を形成します。

今年度は、用地買収を推進するとともに、早期に工事着手できるように地元関係者との調整を進めていきます。

○持続可能な地域社会の維持に向けた県と市町との更なる連携強化

問 人口減少・少子高齢化が著しい中山間地域を抱える市町では、単独での地域活性化等の取組に限界があるため、力強く積極的な支援に取り組んでほしいと考えます。

持続可能な地域社会の維持に向けた市町との更なる連携強化にどのように取り組んでいくのか伺います。

答【知事】市町の自主的・主体的な広域連携等の取組を支援するとともに、地区を超えた課題については全県的な視点を持って政策形成に取り組めます。

また、条件不利地域の課題解決に向けた取組等により地域間連携を促進するほか、市町の人材育成・確保やDX推進を支援していきます。

このほか

県営処分場エコグリーンとちぎの管理運営状況等、本県の漁場の活性化など

一般質問 (12/3)

いしざか まさる
石坂 太
(とちぎ自民党)
[真岡市]



○人口減少を踏まえた行財政改革の在り方

問 今後人口が加速度的に減少することを踏まえた行財政改革は避けられないと考えますが、県は、人口減少時代の課題をどのように捉え、今後の行財政運営にどのように取り組むのか伺います。

答【知事】職員確保や財政状況、施設の維持管理経費の負担等が課題と捉えており、県民サービスの担い手となる職員の育成・確保に取り組むほか、市町・企業等と共に政策をつくる「共創」の取組や、業務効率化のためのデジタル技術の活用等を進めます。

また、歳入規模に見合った歳出構造への転換等により財政健全性の確保を図るとともに、県有施設の総量最適化等にも取り組みます。

○県立高校の在り方

問 県教育委員会は、第三期県立高等学校再編基本計画^{※6}を策定し、前期・後期に分け再編と特色化に向けた取組を進めていますが、後期実行計画が5年後からスタートすることを踏まえ、現状分析と併せて、特色化や県立高校の在り方についての議論を前倒しして進めていく必要があると考えますが、所見を伺います。

答【教育長】高校再編後期実行計画の策定を見据え、ニーズの把握や他県の先進的な特色ある取組の調査研究等を行っています。

各校のスクール・ポリシー^{※7}に基づく将来構想の実現に向け支援するなど、県立高校の在り方についての検討を深め、今後の議論につなげていきます。

このほか

次期「栃木県スポーツ推進計画」、気候変動を踏まえた河川整備など

一般質問 (12/3)

おおぬき たけし
大貫 毅
(民主市民)
[鹿沼市]



○人口減少対策

～地域おこし協力隊制度を活用した移住・定住対策～

問 地域おこし協力隊員の活動は、若者を中心とした移住者を呼び込む環境を整備する役割を期待でき、隊員が孤立しないような連携体制を整え、地域活性化を一層促進する支援が必要と考えますが、地域おこし協力隊制度を活用した移住・定住対策にどのように取り組むのか伺います。

答【総合政策部長】地域おこし協力隊プラットフォームを設置し、隊員同士の交流促進や連携を図るほか、地域おこし協力隊ネットワークと連携し、活動内容の相談や退任後のキャリアプランの作成支援等のサポート体制の充実も図るなど、隊員の受入体制や活躍できる環境を整備し、隊員の地域定着を促進していきます。

○校内教育支援センターの設置促進

問 文部科学省が設置促進する校内教育支援センターについて、本県の設置率は全国平均を下回っています。

不登校の深刻な現状に鑑み、校内教育支援センターの設置を一層促進し、不登校の児童生徒が落ち着いた空間で、自分に合ったペースで学ぶ環境の整備を図るべきと考えますが、今後どのように対応していくのか伺います。

答【教育長】希望する市町に学習指導員の配置に係る経費を助成し、学習及び相談支援を行う環境の整備を図っています。また、市町の担当者を対象とした研修会を通して好事例を共有し、校内教育支援センターの機能強化に向けて支援しています。

今後とも、不登校児童生徒の多様なニーズに応じた支援の充実を図ることができるよう、市町等と連携していきます。

このほか

犬及び猫の殺処分ゼロの取組、水と緑の南摩の里整備事業など

一般質問 (12/3)

よこまつ もりと
横松 盛人
(とちぎ自民党)
[宇都宮市・上三川町]



○子育て女性の多様な働き方の実現

問 子育て女性が希望に応じて働き続けられる環境整備は重要であり、ライフステージに応じた働き方を選択できる制度の普及促進や、育児等をしながらでもキャリア形成に取り組めるようにすることが必要です。

子育て女性の多様な働き方の実現に向け、今後どのように取り組むのか伺います。

答【産業労働観光部長】在宅勤務等の働き方の導入支援や、育児等をしながらでも女性が希望するキャリアを描けるようデジタルスキルの習得支援等を実施しています。

一方、女性の活躍推進には社会の意識変革に取り組み、固定的性別役割分担意識等を解消する必要もあることから、女性活躍のための総合的な施策を進め、子育て期を含めた女性の多様な働き方が可能な社会の実現に努めていきます。

○警察関係施設の整備

問 警察署の多くで、老朽化による機能面での懸念や執務空間の狭あい化が生じており、良好な勤務環境の維持が課題となっています。

また、運転免許センターも含め、トイレなどの衛生設備の老朽化も進行し、快適性や利便性の面からも対応が必要な状況が生じています。

警察関係施設について、今後どのように整備を進めていく考えか伺います。

答【警察本部長】栃木県公共施設等総合管理基本方針^{※8}に基づき、点検・診断を行い、施設の状態を正確に把握するとともに、長寿命化推進事業等により必要な改修を行っています。

引き続き、職員の良い勤務環境を確保しながら、計画的な庁舎の維持管理に努めていきます。

このほか

県スポーツ施設の戦略的整備等、外国人等を対象とした高等学校入学者選抜制度の見直しなど

一般質問 (12/3)

かみや ゆきのぶ
神谷 幸伸
(とちぎ自民党)
[鹿沼市]



○特別養護老人ホームの老朽化対策

問 特別養護老人ホームの中には老朽化が顕著な施設もありますが、国の補助制度は新規創設中心で建替え支援が乏しく、建築費の上昇もあいまって建替えが困難な事例があると聞きます。

現状をどう認識し、どのように老朽化対策を進めていく考えか伺います。

答【知事】創設から相当の年数が経過した特別養護老人ホームが増えてきており、建替えや大規模修繕の必要性が高まるものと考えられます。

建替えの主体となる事業者の状況を十分に確認しながら、他の自治体の事例も踏まえ、県として果たすべき役割を検討していきます。

○へき地医療等に対する支援

問 鹿沼市の栗野地区や東武日光線西側の地域では医療の確保が大きな課題となっており、県も市町と協力して対策に取り組んでほしいと考えます。

へき地など医療資源に恵まれない地域の医療に対する支援にどのように取り組んでいくのか伺います。

答【保健福祉部長】まずは、地元自治体が地域の実情を分析し、限られた医療資源を効果的に活用できるよう、将来の医療提供体制の方向性を検討することが重要です。

県は、市町の検討を支援するとともに、広域的な視点から医療機能の分化と連携を進め、医療資源が少ない地域の医療の質と効率的な提供体制を確保していきます。

このほか

県内産業の稼ぐ力の向上、道路ネットワークの機能強化～さつきロード無料化後の管理・運営～など

県立宇都宮東高等学校の県議会本会議傍聴

11月28日、県立宇都宮東高等学校の1年生約10名が栃木県議会を訪問し、本会議質疑・質問の傍聴を行いました。

これは、学校における主権者教育の一環として、地方自治の実際現場である県議会本会議を傍聴することで、地方の課題などを自分事として捉え、主体的に考え、判断し、行動していくための思考力や判断力などを育成する機会とすることを目的として企画・実施されました。



▲本会議傍聴の様子



▲池田忠議長、琴寄昌男副議長との意見交換

生徒たちは、メモを取りながら、本会議質疑・質問の様子を真剣に聞いていました。

傍聴後には、正副議長との意見交換を行い、生徒からは、本会議の傍聴の感想も踏まえ、政治に期待することや県行政に望むことなどに関する意見がありました。

その後、全国都道府県議会議長会などの3議長会が人気漫画「葬送のフリーレン」とコラボレーションして作成したリーフレットを用いて、議会事務局から県議会の役割などを説明しました。

用語解説

※6 第三期県立高等学校再編基本計画：令和17年度までの県立高校の統合や特色化などについての基本的な考え方を示した計画
※7 スクール・ポリシー：育成を目指す資質・能力に関する方針(グラデュエーション・ポリシー)、教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)及び入学者の受入れに関する方針(アドミッション・ポリシー)の総称で、各高等学校が定めるもの

※8 栃木県公共施設等総合管理基本方針：県が所有・管理する全ての公共施設等について、全庁的・長期的な観点から課題を整理し、維持更新費用の軽減・平準化を図るとともに、次世代に良好な状態で引き継ぐことができるよう明らかにした今後の管理に関する基本的な方針のこと。

常任委員会の主な活動 6つの委員会が設置され、それぞれ所管する部局等に関する議案・請願等の審査や事務の調査等を行っています。

第409回通常会議において所管常任委員会に付託された令和7年度一般会計補正予算(第5号)関係議案等について12月5日に、令和7年度一般会計補正予算(第6号)関係議案等について12月12日に、それぞれ審査及び採決が行われました。

●県政経営委員会

付託議案：栃木県木材業者登録条例及び栃木県行政手続条例の一部改正について等 12件
報告事項：県庁舎周辺整備について等 4件

委員からは、避難所の運営体制の強化や歳入確保に向けた宝くじの周知啓発等について意見が出されるなどしました。



●生活保健福祉委員会

付託議案：栃木県体育施設設置及び管理条例の一部改正について等 5件
報告事項：県立病院の再整備について

委員からは、年末年始の救急搬送患者の受け入れや県立病院の再整備等について意見が出されるなどしました。



●農林環境委員会

付託議案：栃木県環境影響評価条例の一部改正について等 7件
報告事項：栃木県農業振興計画(素案)の概要について等 7件

委員からは、ナラ枯れ対策等について意見が出されるなどしました。また、1月8日と9日には、市場調査のため現地視察を実施しました。



▲東京都中央卸売市場の説明を受ける委員

●経済企業委員会

付託議案：栃木県企業局企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について等 7件
報告事項：次期産業プラン等の素案について等 4件

委員からは、インバウンド誘客の状況と今後の戦略等について意見が出されるなどしました。



●県土整備委員会

付託議案：軌道運送高度化実施計画に対する道路管理者の意見について等 8件

主要地方道宇都宮向田線板戸大橋鋼橋上部工建設工事等について執行部から説明を受けました。



●文教警察委員会

付託議案：義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置に関する条例等の一部改正について等 4件
報告事項：令和8年栃木県警察基本姿勢及び重点目標について

委員からは、特別支援教育の充実・向上等について意見が出されるなどしました。



議会あり方検討会

11月19日に、県民により身近で開かれた県議会の実現に向けた取組について事務局から説明を受け、質疑や意見交換を行いました。委員からは、若者に対する広報の強化等について意見が出されるなどしました。

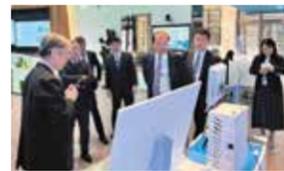


▲検討会の様子

県議会トピックス

○海外行政調査(台湾:11月10日~11月14日)

令和7年度栃木県議会議員海外行政調査団(螺良昭人議員、日向野義幸議員、白石資隆議員、小池篤史議員、湯澤英之議員)が台湾において、産業振興、防災・危機管理対策、観光交流インバウンド誘客拡大等に関する調査を行いました。



▲現地での調査の様子

○ベトナム・台湾トップセールス

福田富一知事とともに池田忠議長、山田みやこ議員、中島宏議員が12月15日から19日までベトナム社会主義共和国及び台湾を訪問し、政府機関訪問やイベント開催等を通じ、本県の魅力・実力のPR等を図りました。



▲魅力発信イベントで挨拶する池田忠議長

表彰

第409回通常会議開議日(11月26日)に、地方自治功労等の功績により、山田みやこ議員(在職20年以上)、塩田ひとし議員、中屋大議員(同10年以上)が栃木県議会、全国都道府県議会議長会、栃木県知事から表彰されました。



▲池田忠議長から表彰を受ける山田みやこ議員(写真左)、塩田ひとし議員(写真右)

U-18 高校生世代のギモン? もっとなるほど! 県議会

あなたがもっと知りたい県議会や議員のことなどについて、議長や副議長がお答えするコーナーです。



池田忠議長

Q 投票率の低さをどのように改善していきますか。また、学校での啓発やSNS活用の効果をどう考えますか。

A 投票率向上に向け、学校での啓発や若者に身近なSNSの活用は重要と考えます。そのため、県選挙管理委員会では、学校と連携した出前講座等を開催するとともに、選挙時には若者向けに、動画によるデジタル広告での啓発にも取り組んでいます。

県議会としても、SNSでの情報発信に加え、議員が学校に出向いて生徒と意見交換する県政ミーティングなど、県議会の役割等について関心を深めてもらうための取組を行っています。

Q 学校の中ではバリアフリーが足りていないと思うのですが、これからどのような対策を行っていくのですか。

A 学校は、障害の有無に関係なく、全ての生徒等が快適に過ごし学べる必要があります。また、災害時の避難所にもなります。

県教育委員会では、教育環境の充実や避難所利用時の機能強化を図るため、学校施設へのバリアフリートイレの整備やスロープの設置等に取り組んでおり、今後も継続してバリアフリーを進めるとともに、その加速化に向け、国に対し県立高校への補助創設や支援制度の拡充を要望していきます。



琴寄昌男副議長

高校生世代※からの質問を募集します!

※栃木県にお住まい又は通学しているおおむね16歳から18歳までの方。応募方法など詳細は下の二次元コードからご確認ください。たくさんの質問をお待ちしています!



議会議事堂へようこそ

○議事堂や県庁舎の見学案内を行っています

小学生などの社会科見学や10名以上の団体の皆さんを対象に、議事堂や県庁舎の見学案内を行っています。

議事堂では、議会案内ビデオの視聴や6階にある傍聴席から議場の見学ができます。



▲傍聴席から見た議場の様子

☎ 広報課県民プラザ室 ☎028-623-3757

県議会からのお知らせ

○議事堂ホールコンサートを開催します

県民の誰もが利用しやすい「開かれた議会」を目指すとともに、文化振興の一環として、議事堂ホールコンサートを次回通常会議の開議日に開催します。



▲昨年度のコンサートの様子

多くの皆様のご来場をお待ちしています。

- 日時:2月16日(月)午前10時~10時30分
●場所:議事堂1階エントランスホール
●定員:イス席140名程度(先着/立ち見での鑑賞も可)
●出演者:鎌田亮子氏、早川愛氏(両者ともソプラノ)/栃木県交響楽団
●演奏曲目:サティ「ジュ・トゥ・ヴ」、ヘンデル「オンブラ・マイ・フ」ほか

※入場無料。事前申込不要。

☎ 県議会事務局総務課 ☎028-623-3753

次回通常会議の日程

- 2月 16日(月) 本会議(開議、議案上程)
19日(木)、24日(火)、25日(水) 本会議(質疑・質問)
27日(金) 常任委員会
3月 3日(火) 予算特別委員会(総括質疑)
4日(水) 常任委員会
5日(木) 議会あり方検討会
6日(金) 本会議(採決)
11日(水) 常任委員会
16日(月) 予算特別委員会(総括質疑)
17日(火) 常任委員会
19日(木) 本会議(採決、散会)

※2月16日は午前10時45分、その他は午前10時開始予定。日程は変更となる場合があります。詳細は、県ホームページでご覧いただけます。

※傍聴については、本会議は先着順、委員会は開会15分前までに受付を行い、定員を超えた場合は抽選となります。

※オンライン傍聴受付も行っていきます。ぜひご活用ください。

